

植物のエネルギー

a2200519 齋藤麻理子

制作意図

私は漆の植栽をしました。
その2ヶ月後、下草刈りに行きました。
2ヶ月という短い期間でしたが、植物が育つには十分な期間だったようです。
2ヶ月前の風景とは見違ような光景でした。
この経験から、植物は私の想像を遥かに超えるエネルギーを持っているのだと思いました。
光を求めて成長する植物のエネルギーを伝えたいと思い制作しました。

デザイン

植物の光への執着を表現しました。
光を取り込もうと光に巻きついている様子を制作しました。

“植物のエネルギー”ということで、
植物であり、造形に適している素材を考え、藁と麻紐を用い造形しました。

工程

原型制作
木地固め
布着せ
布目摺り
布着せ(2枚目)
部分的に藁を見せるため切り込み作り
藁部分に摺り錆
切粉付け(表情をつけながら)
錆固め
藁部分に塗り3回(木地呂)
藁部分に貝を貼る
藁部分に塗り(木地呂)
球体の内側部分を研ぐ
球体の内側部分の塗り(木地呂)
胴摺り
艶上げ
銀箔を貼る
固め



原型完成



布着せ1枚



藁の部分



表面の質感

考察

漆を学んだこの2年間で、漆の魅力をたくさん見つけることができ、良かったと思います。その2年間の成果をこの卒業制作にぶつけました。
今回は、“植物のエネルギー”ということで、全てを植物でこの作品を制作しました。
植物で作品を造形することは、人工的な素材で造形することよりも大変で時間も労力もかかる作業であると感じました。
素材にも気を配りながら制作することも大切だと思います。
この卒業制作では、そのことだけではなく、たくさんの方のことを学べたような気がします。
本当に創って良かったと心から思える卒業制作となり良かったと思います。
この卒業制作が今後の制作活動に活かせたら良いと思います。